



学校教育目標：『ふるさとを愛し、ふるさから学び、ふるさを創造する生徒の育成』

※「ふるさと」とは、人・家族・学校・地域・歴史と文化・自然をさす。さらに、「ふるさと」は、日本や世界をさし、すべてにおいて、明るい未来を創造する生徒の育成が「丹波中教育」にあるととらえ、積極果敢に挑戦し続ける。

《生徒・地域の実態》

- ・少人数だが、意欲とやる気がある。
- ・伝統行事が、うまく継承されている。
- ・学校教育に、理解と協力がある。
- ・親子山村留学制度
- ・生徒数と人口の減少が止まらない。

めざす生徒像《知・徳・体の調和》

- 知：自ら学び続ける生徒**
- 徳：自分に厳しく、他人にやさしい生徒**
- 体：心身ともに、たくましい生徒**

《近未来への希望》

- ・丹波中でよかった！丹波中に通わせたい！
- ・特色ある教育活動の創造
- ・存続と発展（丹波中と丹波山村の明るい未来）
- ・持続可能で循環型 ・日本社会のモデルになる。

地域・社会に開かれた特色ある教育の創造／明日も行きたい行かせたい学校づくり

【知・確かな学力の育成】

- ① 少人数をいかした授業づくりの推進
- ② 基礎基本の定着・学びTIME・まなBOOK
- ③ 主体的対話的で深い学びの推進

- ① ・見せ合い授業の実施（年1回以上の実施）
・授業UDの導入（丹波中UDの実践）
・生徒同士の交流の促進（毎授業に交流を位置づける）・不断の授業改善
・ICT機器の活用（iPadの活用促進/電子黒板の活用/様々な遠隔授業や交流の実践）
- ② ・家庭学習の定着（まなBOOKの継続）
・放課後学習の実施（学びTIMEの推進）
- ③ ・やまなしSDの定着（目標と指導と評価の一体化）
・新聞学習R80の推進

【徳体・心身ともにたくましい生徒の育成】

- ① 生徒指導の充実 ② 道徳教育の推進
- ③ 丸ごと受けとめる教育の充実
- ④ 健康な体づくりの推進

- ① ・欠席30日以上ゼロの取組
・学校が楽しい生徒100%
・年3回のQ-Uによる実態把握と学級づくり
- ② ・年間35時間の実施
・全校道徳の推進（全教職員が実施）
・重点内容項目の充実（全体計画の検討）
- ③ ・チーム支援の確立（企画会議の校内委員会）
・個別の支援計画の作成
・専門機関及びSCとの連携
- ④ ・部活動と体育授業における体力づくり

【地域に根差し、信頼される学校づくり】

- ① ふるさと教育の推進
- ② 家庭・地域・小保との連携
- ③ 積極的な学校公開と情報発信

- ① ・人材活用 ・CSの準備
・自然体験（年3回の実施/保小と合同）
・伝統行事の充実（全音/全登/丹課/栽培/小中運動会/清流祭/生徒会活動など）
- ② ・小中交流授業（小への出前全員1回以上）
・園児及び高齢者との交流
- ③ ・オープンスクールの実施（年2回）
・学校HPの日常的な更新
・学校だよりの発行（月1回以上）
・学校評価（年1回）

《連携》

- ・行政 ・各専門機関
- ・保護者 ・地域

《めざす教師像》★「問題は、教師の側にある」を信条とする教師★心身ともに健康な教師

- 学校教育目標に向かって主体的に参画する教師（各分掌の改革と強化）
- 自ら学び続ける教師（授業改善/日常的に授業を見合う/年に1回以上の県外研修参加）
- 自ら言葉・身なり・行動を律する教師

《働き方改革》

- ・20時までの退勤
- ・資料の縮減化